

# 危険な投稿 効率的に判定

県警のサイバー防犯ボランティアで崇城大情報学部2年の菊川稀玲さん(19)が、短文投稿サイト「ツイッター」上の危険な内容をチェックするアプリケーションソフトを開発した。県警はインターネットに絡む犯罪を効率的に防げるとして、早速活用を始めた。

## ツイッターアプリ 菊川さん(崇城大)開発



サイバー犯罪防止アプリを開発した崇城大の菊川稀玲さん  
熊本市西区

コンで情報を共有し、危険度を判定できるとい

う。開発のきっかけは、5月に発生した女性アイドル刺傷事件。容疑者の男

性ファンは、アイドルのツイッターに書き込みを繰り返していた。菊川さ

んは「危険な書き込みをチェックできるアプリがあれば防げた事件」と思

い立ち、ボランティア仲間2人とともに約1カ月で完成させた。

同僚部の吉岡大三郎准教授(情報通信)は「手作業より数倍効率がいい」と太鼓判を押す。菊川さんは「アプリの設計

情報は公開しており、幅広く活用してほしい」と呼び掛けている。

同大や県立大など4大学のボランティア11人は11日、アプリを使ったパトロールを実施した。県警サイバー犯罪対策課は

「ネット情報のチェックは人海戦術がほとんどで、パトロールの効率性が大きく向上する」としている。

(九重陽平)

10・3・10・9	先週の刑法犯認知件数(速報値)		
	週計	199(37)	累計 6,680[-1,251]
	先週の交通事故(速報値)		
	発生件数	死者数	負傷者数
週計	118(-8)	1(1)	147(-25)
累計	4,497[-467]	48[-13]	5,839[-577]

※( )内は対前週比  
「」内は対前年同期比

守ろう!!  
**安全安心**

くまもと 2016